

## 足立新田高等学校 令和5年度 公民科 政治・経済 年間授業計画

教 科： 公民 科 目： 政治・経済 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年1組～6組

使用教科書：（『新政治・経済』清水書院）

使用教材：（『最新図説政経』浜島書店、必要に応じてプリントを配付）

	指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	使用教材・教具
4 月	人間と政治 民主政治の発達と基本原理	民主政治の基本原則として、ホブズ、ロック、ルソーがそれぞれ説いた社会契約説の内容について知る。	発言・確認テスト・ノート点検など	4	『新政治・経済』清水書院  『最新図説政経』浜島書店
	日本国憲法の成立	日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権、平和主義を三大原則としていることについて理解する。		2	
	日本国憲法の基本原則 日本国憲法と基本的人権基本的人権	大日本帝国憲法においては君主主権であったものが、日本国憲法の下では国民主権となったことや、現在、天皇は日本国及び日本国民統合の象徴であることなどについて知る。		1	
5 月	法の下での平等	法は社会生活における人間の行動を規律する社会規範の一つであり、国家による強制を伴うという点で、道徳や慣習とは異なることを知る。	発言・確認テスト・ノート点検など	2	同上
	自由権的基本権 社会権的基本権 参政権・請求権	基本的人権が人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果として確立されたものであることを踏まえ、日本国憲法が保障している基本的人権について、その内容、確立の歴史的経緯、政治制度との関連などについて知る。		6	
	人権の新しい展開 人権の国際的保障	新しい人権がどのように展開しているかを知り、人権の国際的な保障についてその内容、歴史的経緯を踏まえて理解する。		2	
6 月	国会と立法過程 内閣 裁判所	日本国憲法の条文を踏まえて、国会、内閣、裁判所の諸機能について知る。	発言・確認テスト・ノート点検など	3	同上
	地方自治と住民福祉	我が国の地方自治制度の特徴として、直接民主制の考え方がより多く取り入れられており、首長と議会が住民の代表としてそれぞれ独立に選ばれていることなどを知る。		2	
	行政機能の拡大	民主政治の本質は、主権者である国民の同意に権力の正統性を求める政治であり、一方、現代政治の特質として、国民の価値観が多様化する中で、政府による利害調整の働きへの期待が大きくなっていることを知る。		1	
	政党政治と選挙 政治参加と世論	55年体制の成立や小選挙区比例代表並立制の採用といった歴史的経緯を踏まえながら、戦後日本の政党政治と選挙制度の変遷について、その概要を知る。		2	
	現代の国際政治	国際法に関する基本的な仕組みや、統一的な立法機関が存在せず、当事国の同意以外、強制力を十分にもたない現状などについて知る。		3	
7 月	日本の平和主義と国際平和	我が国の安全保障における日米安全保障条約の持つ意義や、自国の防衛と国際社会の平和と安全に向けて自衛隊が果たしている役割などについて知る。	発言・確認テスト・ノート点検など	3	同上
	1学期のまとめ	1学期に学んだ内容が、自己の将来にどのように関係するかの考えを深めさせる。		1	

	指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	使用教材・教具
9月	人間と経済	経済活動とは、分業と交換の仕組みを活用して、人間生活の維持・向上のために行われるものであることを知る。	発言・確認テスト・ノート点検など	1	同上
	経済社会の変容と経済思想 経済主体と経済の循環	現代の国民経済を構成する主要な経済主体である家計、企業、政府のそれぞれの機能と役割について知る。		2	
	市場の機能と限界	市場経済の仕組みについて、完全な自由競争市場においては、価格の自動調整機能によって均衡価格が成立し、経済資源の効率的な配分が実現されることを知る。		3	
	現代企業の特徴と社会的責任	市場の失敗の例として、公害問題や消費者問題(製品事故や薬害等)があることを知る。		3	
10月	経済の成長と景気変動	物価や景気の変動が国民生活に大きな影響を与えることや、国民生活を向上させるには、経済成長と物価の安定が必要であることについて知る。	発言・確認テスト・ノート点検など	3	同上
	政府の経済的役割	政府による経済活動のことを財政と呼び、国民から徴収した税金等を財源として様々な公共支出が行われていることや、国民経済における租税の意義と役割について知る。		2	
	資金の循環と金融機関のはたらき	金融市場における直接金融と間接金融の違いや、現代の管理通貨制度の仕組みと中央銀行の機能などについて知る。		3	
	日本経済の発展と産業構造の変化	現代経済の特徴について、我が国をはじめ世界の多くの国々の経済体制が、完全な市場経済でも計画経済でもなく、混合経済と呼ばれる仕組みから成り立っていることを知る。		2	
11月	社会保障と社会福祉	経済活動の在り方と福祉の向上との関連について、経済発展を優先する効率性を重視した考え方と、福祉向上に求められる公平性を重視した考え方は両立させることが難しいことを知る。	発言・確認テスト・ノート点検など	4	同上
	経済のあり方と国民生活	国際分業における貿易の意義と変動相場制の基本的な仕組みを知る。		3	
	現代の国際経済	貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。		3	
12月	2学期のまとめ	2学期に学んだ内容が、自己の将来にどのように関係するかの考えを深めさせる。	発言・確認テスト・ノート点検など	1	同上

	指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	使用教材・教具
1 月	日本社会の諸課題～中小企業問題	中小企業を取り巻く経済環境を理解し、将来の展望について考察を深める。	発言・確認テスト・ノート点 検など	4	同上
	国際社会の諸課題～地球環境とエネルギー 問題	地球環境と資源・エネルギー問題について、温室効果ガスの蓄積による地球規模の 気候変動やオゾン層の破壊、熱帯林の減少など、様々な問題が生じていることを知 る。		3	
2 月	1年間のまとめ	1年間に学んだ内容を整理し、自己の将来にどのように関係するかの考えを深 めさせる。	発言・確認テスト・ノート点 検など	1	同上
3 月					